

平成 27 年度木花・青島プロジェクト JV の取組み（1）

知福川への鮎の放流



休養村センター、加江田地区、知福川保全会合同で木花内水面に協力要請し、知福川に鮎放流 4/27

好隣梅祭りのサポート



好隣梅祭り会場設営、イベント参加者送迎、実行委員会への全面サポート (2/6～2/7)

押し花教室の開催



押し花の講師を招き利用者への押し花教室を開催（毎月最終木曜日）

宮崎大学地域資源創成学部との協議



木花まちづくり推進委員会と宮崎大学地域資源創成学部の教授陣との地域おこしの協議の様子…全面的に協力体制を組んでいます。

第 9 回元気の出る餅つき



お客様感謝デーの年末恒例「元気の出る餅つき大会」宮崎大学の 6 カ国の留学生も参加 12/27

ハッピープラス（地域特産品フェア）



地域創成の助成金によりハッピープラス・地域特産品フェアを実施 (10/1～12/24) 大好評でした

詩吟の会



毎月 2 回詩吟の会を実施しております。参加者募集中です。

バス利用の地球温暖化防止の推進



宮崎交通や巡回バスでの来場者はポイントカード制にしており 10 ポイントで地球温暖化防止の推進者として優待券進呈。

第 7 回楽市楽座の開催



平成 19 年指定管理者制度以来、来場者 **100 万人突破** を記念して楽市楽座というイベントで盛り上がる利用者 (3/13)

来館者・100 万人突破



休養村センター指定管理となって 8 年 9 カ月で 100 万人突破。100 万人目は赤江地区の太田ケイ子さんでした

九州エコライフポイント推進



地球温暖化防止推進センターの協力量により休養村センターの利用者へエコの取組みの推進活動を行った

宮崎市内消防団員優遇制度



宮崎市内在住の消防団員及びその家族を応援する店の登録をしました。団員、家族カードを提示して頂ければ、一般料金の半額で利用できます。(4/1～)

平成 27 年度木花・青島プロジェクト JV の取組み (2)

木花中学職場体験



木花中学生 2 名を受入れた。接客サービス、清掃、施設管理など座学・実体験を通して教育した。10 月 (2 日間)

宮崎大学教育学部インターンシップ



宮崎大学教育学部よりインターンシップとして 2 名を受入れ、社会人教育を実施した。(2/11)

休養村映画祭「嵐を呼ぶ男」上映



宮崎映画祭実行委員会と協働により休養村で初めての映画上映会を実施「嵐を呼ぶ男」…大好評でした (8/9)

レストランでの市民ギャラリー



館内の空きスペースを活用して市民のギャラリーとして活用し、利用者から喜ばれています。(年 3 回作品入替)

休養村短歌の会作品展



休養村センターで行われた短歌の会でベスト作品の展示 (大広間前)

温泉利用者の押し花作品展



休養村センターでの押し花教室の生徒による押し花の作品展の実施 (12 月～1 月)

地元加江田保育園お絵かき展



地元加江田保育園の園児の描いた絵を浴槽棟の通路に展示している。(年 2 回作品の入替)

接客スタッフのマナー勉強会



指定管理者 3 巡目となり日々のサービスがマンネリ化しない為に、接客のプロの指導を受けています。(年 1 回)

消防局職員による AED 訓練



高齢者の利用者が 8 割以上を占める当センターでは AED 訓練は必須です。(年 1 回実施 2/29)

全スタッフ参加の消防訓練



避難訓練、通報訓練、初期消火訓練を消防署の指導の下実施
9 月、3 月 (年 2 回)

木花ポン菓子機管理委員会発足



27 年度より木花地区でポン菓子機管理委員会をつくり、木花のイベントに参加してもらっています。休養村では 2～3 回程協力頂いています。

休養村ゴルフコンペ開催



休養村センターの常連のゴルフ好きが開催するゴルフコンペです。
2 ヶ月に 1 度開催

平成 27 年度木花・青島プロジェクト JV の取組み (3)

好隣梅・環境整備(梅の木植林)



木花自治連合会をはじめ各種団体の皆さんで、好隣梅の梅の木の植林を全面協力 3/25

PDCA 活動 (改善ミーティング)



休養村センター勉強会の実施、利用者からのクレーム、要望、スタッフからの提案を検討し作業に反映する勉強会(年 2 回)

宮崎市シルバー人材センター剪定教室



宮崎市シルバー人材センターの人材育成で、専門講師の指導のもと当センターにて剪定教室を実施

(年 2 回 7 月、10 月)
休養村温泉友の会懇親会



休養村センターの常連客で行う懇親会(温泉友の会)温泉のマナー向上に進んで取組んで頂いている(年 2 回)

高齢者と地元保育園児との交流会



休養村センターに高齢者を招き、地元保育園児との交流会を実施 高齢者には大好評です 9/15

幼稚園、保育園のお泊り保育



宮崎市内の幼稚園、保育園児のお泊り保育を積極的受け入れ、子供の自然体験に協力している。7 月、8 月

知福川沿いの休耕田を活用し地域住民交流 (知福川保全会と休養村の取組み)



5 月知福川保全会と休養村センターの協働で、地域住民の方々多数の参加して頂き、加江田地区知福川沿いの休耕田を活用し、芋植えを行った。これは地域住民の交流を目的に行った。

10 月の収穫期には加江田保育園の園児にも参加してもらい。地域住民ともども大変賑やかな芋ほりイベントとなった。

地域の保育園児と芋ほり体験



加江田 1 区住民と知福川保全会の皆さんと協働企画し加江田保育園児を迎えての芋ほり体験 (10/15)

第7回楽市楽座

平成 20 年度から楽市楽座を開催しておりますが、今回が 7 度目となります。宮崎市自然休養村センターが指定管理になって以来 9 年が経過し、12 月 26 日で来場者 **100 万人**を突破することができました。100 万人突破記念ならびに地域活性化の取り組みとして木花の地元自治会、各種団体の皆様にご協力頂きました。心より感謝申し上げます。以下ご報告申し上げます。

日 時
開 催 場 所
参 加 団 体

平成 27 年 3 月 13 日 (日) 10:00~15:00

宮崎市自然休養村センター 玄関前、北側駐車場、館内 1F 大広間
木花まちづくり委員会、木花サポーターズネットワーク、加江田 1~3 区自治会
木花ボランティア女性部、木崎上区、木花振興会、加江田保育園
地球温暖化防止活動推進センター、その他地域の有志 (合計 78 名)

当日入場者数

1625 名

※イベント当日は、朝から晴天となり多数の来場者が訪れ、トラブルなく大変賑やかで充実したイベントとなりました。

楽市楽座の様子

木花・青島活性化プロジェクト JV



テントは木花地区、各団体の皆様のご協力で設営致しました



はずれなしお楽しみ抽選会



木花の花生産者販売



地元海産物販売



木の花ボランティア会による
振舞いぜんざい



大繁盛・射的ゲーム



金魚すくいとヨーヨー釣り



木花農業青年による野菜販売



ボン菓子の振舞い



フリーマーケット大成功



賑わう来場者テント



和太鼓・野崎幸士一座



大道芸人の手品ショー



びっくりバルーンアート



九州 No1 ボイスパーカッション



バリ舞踊

びっくりぽ～んの餅つき大会 2015



100万人突破といっしょ!!



100 万人突破を祝う太鼓の会



木花の方々による餅つき指導



子供のチャレンジ餅つき



留学生と地元民交流餅つき



木花のおばちゃんとの餅もみ交流



留学生がついたお餅の完成



振舞いポン菓子



振舞いぜんざいに満足の来場者



早朝からのボランティア

開催

平成 27 年 12 月 27 日

場 所 休養村センターテラス

来場者 511 人



宮崎)宮崎大に新学部誕生 地域のリーダー育成目指す



黒木支配人の話を聴く学生たち＝宮崎市加江田の市自然休養村センター

宮崎大は今春、地域資源創成学部(地域学部)を新設した。少子高齢化や雇用の確保など地域が抱えるさまざまな課題と向き合い、地域のリーダーになれる即戦力を育てる学部だ。外部から講師を招き、自ら地域に出て「象牙の塔」にこもらない学問を実践する。

6月3日。宮崎市加江田の温泉施設「市自然休養村センター」の2階大広間で、地域学部の1期生約30人がセンターの黒木幹夫支配人の話に耳を傾けた。

センターは指定管理者制度にもとづき、黒木さんが代表を務める「木花・青島活性化プロジェクトJV」が経営する。きめ細かなクレーム対応や徹底した清掃消毒などの改善を続け、2007年の指定管理者制度導入前と比べて、来客者を約3倍に増やした。

黒木さんは「何かをやり遂げようと思ったら、決心することです」と語りかけた。地域学部の根岸裕孝准教授は「運営の仕方でもこんなにも愛される施設に変わる。マネジメントの力を感じることができた」と学生に話した。

学部長には経産官僚として地域振興に関わった吉田雅彦さん(54)が就いた。根岸准教授は「(フィールドワークを)1年生でやるのがポイント。現場は生きた教材」。

地域の人と対話し、一緒に課題の解決を考えることをめざしている。「宮大は正直、地域と向き合ってこなかった。地域社会の一員として何ができるか。ウィンウィンの関係を築きたい」。



吉田雅彦学部長